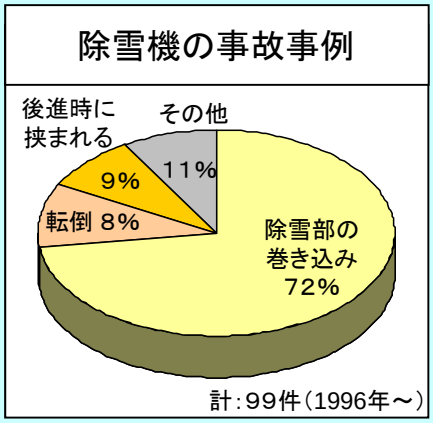
除雪機を安全にお使い頂くために

● 除雪機利用中の3大事故と事故原因

出典：(独)製品評価技術基盤機構
事故情報データベース



除雪部の巻き込み
- エンジンを停止せずに除雪部に近づく
- 周囲の確認が不足し、他者を巻き込む

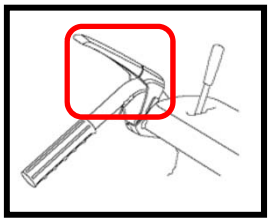
転倒事故
- 無理な姿勢で作業、機械の移動を行う
- 不注意により足を引っ掛けて転倒する

後進時に挟まれる
- 後進時に周辺確認が十分でない
- 後進速度が速すぎ、機械を操作を誤る

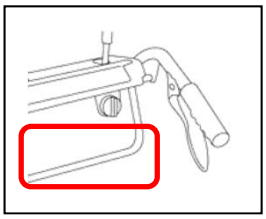
除雪中の事故が起こる原因を知り、正しく使用してください。

● 除雪機の主な安全機構

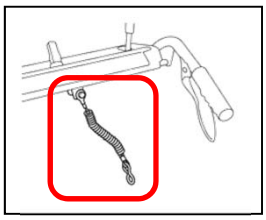
※詳しくは、お使いの除雪機の取扱説明書をご確認ください。



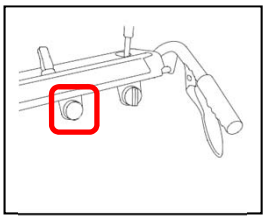
デッドマンクラッチ
現在販売される全ての除雪機に搭載される、クラッチレバーを放すと機械が止まる機構です。



緊急停止バー
バーを押すとクラッチが切れ機械が停止します。



緊急停止クリップ
コードを引き抜くと機械が停止します。クリップを体に付けておけば、機械が離れた時に停止させることが出来ます。



緊急停止ボタン
ボタンを押すと機械が停止します。

安全機構を外すことは大変危険です。絶対にしないでください。

● 注意喚起事項

- 作業前には取扱説明書をよく読んで、正しい使い方を理解する。
- 雪詰まりを取り除くときは、エンジンを停めて、必ず雪かき棒を使う。
- 回転部に近づくときは、必ずエンジンを停める。
- 後進するときは、足下や後方の障害物に気をつける。
- 雪を飛ばす方向に注意する。作業中は絶対に人を近づけない。
- 安全機構が正しく作動しない状態では絶対使用しない。

一般社団法人日本農業機械工業会

除雪機安全協議会 検索

http://www.jfmma.or.jp/

発行：平成25年2月